

■ 基本的方向性
 ① 空き店舗等を活用した人の集う場所の設置等により商

本市の市街地は、商店や医療機関などの様々な都市機能が一定の範囲に集積し、比較的コンパクトに形成されていますが、空き地、空き家、空き店舗が増え続け、活気が失われつつあります。

そこで、「子どもからお年寄りまで多くの人が集い、笑顔あふれる市街地の形成」を目標像として、次の基本的方向性のもと、取り組んでいきます。

真の「コンパクトシティ」を目指して

なあ、これらの施策の推進

には多額の財政支出を必要とするほか、関係機関・団体との調整など、時間が必要なもの多く、一挙に実現することは困難ですので、できるものから段階的に取り組んでいます。

まずは「駅通り商店街」に

優先事項と位置づけ、必要な予算措置等を行い、次の施策に取り組むこととしています。

不満とした人が70%を超えています。また、都市基盤の整備については、中心市街地や駅周辺施設などの整備が重要と思っている人が多いことが分かります。

市では、市民の皆様から広くまちづくりのアイディアを募集しています。採用されたアイディアについては、予算化するなど、今後の市政運営で活用していく予定です。

応募方法 企画調整課企画調整係(市役所2階)に直接持参(ペーパーもしくはデータ)するか、FAXまたはEメールで応募してください。※書式は問いません。

応募締切 8月31日(火) 午後5時15分まで

◎問合せ 企画調整課企画調整係
 TEL72-1111 内線225・226
 FAX72-9436
 Eメール : kikakutyosei@city.makurazaki.lg.jp

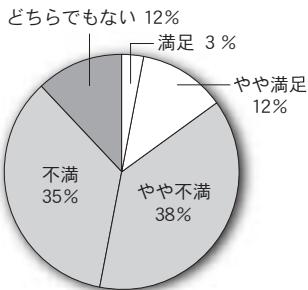
※市では、各通り会や団体、個人などがだれでも応募できる「まちの活性化策コンテスト」を実施する予定です。



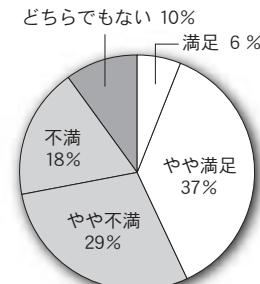
募集

まちづくりのアイディアを募集します

②商業やサービスの振興(商店街の活性化など)についてどのように感じていますか



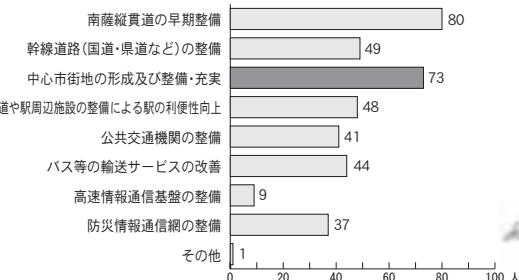
①中心市街地や駅周辺の利便性についてどのように感じていますか



本市の市政は、平成18年に策定された第5次枕崎市総合振興計画に基づき進められています。今回、その後期計画策定に向けて、市民アンケートを行いました。その中から、中心市街地に

関係するアンケート結果の一部を紹介します。また、都市基盤の整備については、中心市街地の利便性については満足と不満を感じる人が同程度なのに対し、商業やサービスの振興面では、

③都市基盤の整備について重要なものは



中心市街地(商店街)の現状をどう思いますか？活性化には何が必要だと思いますか？

★80代(女性)
 眠れないくらい
 にぎやかなまちでした

中心市街地に住んでいますが、昔はにぎやかで、車の音などがうるさくて夜も眠れないくらいでした。しかし、まずは人口減少に歯止めをかけなければいけません。それには雇用拡大が重要だと思います。進学のため市外に出た若い枕崎出身者が、帰ってきたいと思えるようなまちづくりをしなければいけないと思います。

★50代自営業(男性)
 人口と雇用の増を

商店街を通ると、多くの店のシャッターが下りていて寂しく思います。しかし、まずは人口減少に歯止めをかけなければいけません。それには雇用拡大が重要だと思います。進学のため市外に出た若い枕崎出身者が、帰ってきたいと思えるようなまちづくりをしなければいけないと思います。

★30代主婦
 もっと情報発信を

3年前に鹿児島市から枕崎市に移り住みました。駅前の商店街を通っても何の店なのか、店が開いているのかも分かりません。もっと情報発信をしてもいい種類の店があればいいと思います。週末に定期的にフリーマーケットをしたり、出店を並べたりすれば行ってみたいです。店の品揃えもオンラインで買えるといいと思います。

★高校生(男性)
 店の種類を増やして

小さい頃は駅前の本屋とかによく行っていました。最近は店が少なくて、にぎわっていない感じます。目的がないと行かないで、いろいろな種類の店があればいいのに思います。大学進学そして就職のことを考えると、枕崎は好きだけど、したい仕事ができないので帰ってこないと思います。